

栃の木からの手紙



栃の木。美幌瑞泉郷の真中にでえ〜んと構えている栃の木。トチノキ。トチの木。土地の木。土地の気。今まで気にも留めていなかったが、昨年花が咲く事に気が付いた。6月上旬、薄紫色の藤の花が見事に咲いていた。ふと隣を見ると、栃の木の葉の緑の中に白い花が咲いている事に気が付いた。しかも天に向かって。

3月 弥生

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3日：桃の節句

5日：新月

6日：啓蟄 …冬眠をしていた虫が穴から出てくる頃。

7日：美幌会総会 11時～

20日：満月 …種蒔き適期。ゆっくり発芽、根張りが良く生育する。

21日：春分 …豊穰を祈り種蒔きの時期。二十四節季の原点。

27日：美幌光輪祭 10時～

栃の木の花

マロニエ。西洋栃の木のフランス名です。

栗によく似た実がなりますが、アクが強く木の実を食するリスでさえ食べないようです。でも人間は、特殊な方法でアク抜きをして食べます。縄文時代の遺跡からも出土する程の食材で、食糧不足を補う食べ物として重視され、山林伐採のときでも栃の木は切らずに残して置いたようです。



MOA自然農法文化事業団 の 動き

(NPO法人 から 一般社団法人 へ)

現在、NPO法人で行っている事業及び制度等については、全て新しく設立する一般社団法人に移管して、4月の新事業年度からスタートできる様、準備を進めています。

一般社団法人になることにより、従来の活動の制限が無くなり、将来公益法人を取得し易くなる。また、非営利性の徹底により、税制面で優遇措置を受けられます。